

モニタリング結果報告書（平成25年度上半期）

施設	スポーツ会館
指定管理者	公益財団法人神奈川県体育協会
指定期間	H21.4.1 ～ H27.3.31
施設所管課	スポーツ課 ()

今期の指定管理者の管理運営状況（1～6の結果を踏まえた総合評価）

B

（総合評価の基準）

- A：極めて良好な管理運営状況である。
（「1 管理運営等の状況」を含むAが3つ以上で、CとDが1つもない場合）
- B：良好な管理運営状況である。
（Cが1つ以下でDがない場合）
- C：一部改善が必要な管理運営状況である。
（Cが2つ以上の場合。または、Dが1つの場合）
- D：抜本的な改善が必要な管理運営状況である。
（Dが2つ以上の場合）

<p>< 1 管理運営等の状況 > 老朽化が進んでいるものの、毎日の点検・清掃を実施し、植栽の剪定作業も職員で定期的に行っている。日頃から、利用者が安全かつ衛生的に利用できるような心がけており、概ね事業計画、仕様書等の内容どおりに事業を実施しているため、B評価となった。</p> <p>< 2 収支状況 > 利用料金収入こそ前年度上半期実績合計額に及ばなかったものの、今期全体の対収支計画比をみると、収入が上回っている一方で、徹底した節電努力などによる支出の抑制が図られ、収支差額が9.4%のプラスとなったため、B評価となった。</p> <p>< 3 利用状況 > スポーツダンスなどの大人数で使用する団体が減少したことにより、前年同期対比増減率は10.7%のマイナスとなったが、目標対比増減率は3.8%のプラスを確保したため、B評価となった。</p> <p>< 4 利用者の満足度 > 9月に実施し、上位2段階の回答割合が64.0%となったためB評価となった。回収率は、利用者に対する積極的な呼びかけに努めた結果、94.6%と高くなった。</p> <p>< 5 苦情・要望等 > アンケート調査では空調に関する要望など、経年劣化に伴う設備の状況に対するご意見を多くいただいた。空調の効きが悪く、夏場は冷房を入れても設定温度に達しないなどの状況になっているが、積極的に状況を把握しサービスの向上に努めたため、A評価となった。</p> <p>< 6 事故・不祥事等 > 特段事故もなく、日頃から未然の事故防止を図るなど適切な施設運営を行ったことから、A評価となった。</p> <p>< 今後の方針等 > 引き続き利用者が気持ちよく利用できる施設環境を維持するとともに、利用者アンケートの結果や要望を踏まえ、利用者ニーズに的確に対応することにより、更なるサービスの向上に努めてもらいたい。</p>
--

1 管理運営等の状況

評価 **B**

（評価の目安）

- A：事業計画、仕様書等の内容を上回る事業を実施した。
- B：概ね事業計画、仕様書等の内容どおりに事業を実施した。
- C：事業計画、仕様書等の内容のうち、一部の事業を実施していない。
- D：事業計画、仕様書等の内容のうち、半数以上の事業を実施していない。

(1) 事業の実施状況

	提案内容	実施状況等
1 (指定管理業務)	<p>年未年始、施設点検日（原則月1回）を除く、原則無休による開館日の拡大。 ※条例に定める休館日：月曜日（休日を除く）、休日の翌日（土・日・休日を除く）、年未年始</p>	<p>提案どおり、 4月1日、8日、22日、30日 5月7日、13日、27日 6月3日、10日、24日 7月1日、8日、16日、29日 8月5日、12日、26日 9月2日、17日、24日 合計20日間（開館日拡大）</p>

	提案内容	実施状況等
2 (指定管理業務)	人材育成(職員育成・研修)について	<p>安全な施設運営に必要な知識、技術の習得を図るため、職員研修を2回実施予定。</p> <p>第1回 平成25年12月18日、19日 接遇に関する研修</p> <p>第2回 平成25年12月26日 避難経路の確認・屋内消火器の使用法・AEDの使用法などの研修</p>
3 (指定管理業務)	施設の維持・管理について	<p>経年劣化による体育備品の故障・修理が必要な箇所が増えているため、日常の施設点検業務を着実・確実に行う事により、安全な施設運営に努めていく。</p>
4 (指定管理業務)	スポーツ教室の開催	<p>○テニス教室 12コース</p> <p>キッズテニス(水) 春 14名 夏 11名</p> <p>ジュニアテニスI(水) 春 16名 夏 14名</p> <p>ジュニアテニス2(水) 春 20名 夏 19名</p> <p>キッズテニス(金) 春 11名 夏 10名</p> <p>ジュニアテニスI(水) 春 16名 夏 22名</p> <p>ジュニアテニス2(水) 春 20名 夏 17名</p> <p>○卓球教室 2コース</p> <p>硬式卓球 春 22名</p> <p>ラージ卓球 春 21名</p> <p>○ダンス教室 2コース</p> <p>ダンススポーツ(初級) 春 32名</p> <p>ダンススポーツ(中級) 春 36名</p> <p>○ジュニアスポーツ教室 5コース</p> <p>幼児体操教室(3~4歳) 春 23名</p> <p>幼児体操教室(5~6歳) 春 10名</p> <p>小学生体操教室 春 13名</p> <p>幼児体操 夏 28名</p> <p>小学生体操教室 夏 58名</p> <p>○フィットネス系教室 5コース</p> <p>パワーヨーガ教室 春 6名 夏18名</p> <p>ヨーガ教室 春 19名 夏18名</p> <p>フローヨーガ教室 春 13名</p>

5 (指定管理業務)	スポーツ指導員養成講習会及び生涯スポーツ研修セミナーの開催	日本体育協会公認スポーツ指導者養成講習会 1講座 卓球競技 参加者 29名 日本体育協会公認スポーツ上級指導者養成講習会 1講座 卓球競技 参加者 16名 日本体育協会公認スポーツ上級指導者養成講習会 (共通科目) 参加者 76名 生涯スポーツ研修セミナー 救急法講習会 参加者 18名
5 (指定管理業務)	外部の諸機関との連携	スポーツ教室は、本会加盟団体より一部講師派遣等協力を得て開催。 スポーツ指導員養成講習会は、神奈川県卓球協会の協力を得て開催。

(2) 月例報告書による確認状況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
4月	25. 5. 7	25. 5. 30	○	—	○	無	
5月	25. 6. 10	25. 7. 8	○	—	○	無	
6月	25. 7. 11	25. 8. 5	○	—	○	無	
7月	25. 8. 8	25. 8. 29	○	—	○	無	
8月	25. 9. 9	25. 9. 27	○	—	○	無	
9月	25.10. 10	25.10.31	○	—	○	無	

※基本協定書上の月報等提出期限 翌月 の 10 日まで

2 収支状況

評価 **B**

(評価の目安)

収支計画（支出額）と比較して

- A：収支状況が良好である（収支差額のプラスが10%以上）。
 B：概ね計画どおりの収支状況である（収支差額がプラスマイナス10%未満）。
 C：計画と異なり、収支差額に10%以上20%以下のマイナスが生じている。
 D：計画と異なり、収支差額に20%を超える大幅なマイナスが生じている。

単位：千円

		収入額（自主事業収入は除く）				支出額		収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計		うち納付金	
募集時の県積算額 (参考)		21,322	1,801		23,123	23,123		0
年度計画	前年度	20,997	1,801	0	22,798	22,798	0	0
	上半期	10,171	900		11,071	11,071		0
	下半期	10,826	901		11,727	11,727		0
	今年度	21,322	1,801	0	23,123	23,123	0	0
	上半期	10,334	900		11,234	11,234		0
	下半期	10,988	901		11,889	11,889		0
上半期実績	4月	1,449	218		1,667	1,174		493
	5月	1,452	211		1,663	1,478		185
	6月	3,095	197		3,292	2,821		471
	7月	1,445	199		1,644	1,925		▲ 281
	8月	1,447	243		1,690	1,492		198
	9月	1,446	189		1,635	1,648		▲ 13
	上半期合計	10,334	1,257	0	11,591	10,538	0	1,053
	対収支計画比	0.0%	39.7%		① 3.2%	② ▲ 6.2%	③	9.4%
参考	前年度 上半期実績合計	10,171	1,377		11,548	10,462		1,086
	対前年度 上半期実績比				0.4%	0.7%		

※その他収入の内容 事業収入、補助金、助成金、寄付金、参加者負担金、預金利息、雑収入等から該当するものを記載

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

収支状況に関する確認等

確認項目	該当	収支計画と異なる理由等
① 収入の増減（収支計画対比±10%以上）	×	該当なし
② 支出の増減（収支計画対比±10%以上）	×	該当なし
③ 収支差額のマイナス（上半期収支計画支出額対比）	×	該当なし

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等
 基本協定において、県が負担することとしている修繕費等： 10万円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期		
下半期		
合計	0	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等

支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等

積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

3 利用状況

評価 **B**

(評価の目安)

今年度上半期利用者数が、
目標対比増減率で

- A : 105%以上
- B : 95%以上～105%未満
- C : 85%以上～ 95%未満
- D : 85%未満

(目標利用者数等を設定していない場合、前年同期対比増減率で)

- A : 105%以上
- B : 95%以上～105%未満
- C : 85%以上～ 95%未満
- D : 85%未満

(入所施設等定員がある場合、定員比で)

- A : 100%
- B : 90%以上
- C : 80%以上
- D : 80%未満

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
4月	3,577 人	4,185 人	85.5 %
5月	4,154 人	4,124 人	100.7 %
6月	3,781 人	4,753 人	79.6 %
7月	3,481 人	3,600 人	96.7 %
8月	3,903 人	4,198 人	93.0 %
9月	2,883 人	3,516 人	82.0 %
合計	21,779 人	24,376 人	89.3 %

	利用者数	前年同期利用者数	目標利用者数 (または定員数)	目標(定員) 対比増減率	前年同期 対比増減率
上半期計	21,779 人	24,376 人	21,000 人	① 103.8 %	② 89.4 %
下半期計	— 人	— 人	— 人	— %	— %
合計	21,779 人	24,376 人	21,000 人	3.8 %	▲ 10.7 %

※目標値の設定の有無

期間	設定している	その他の場合の期間	
基準	通年	その他の場合の基準	
	指定管理者提案値		

利用状況に関する確認等

確認項目	該当	理由及び対応策
① 目標対比±5% (目標値対比増減率105%以上または95%以下)	×	該当なし
② 前年対比±5% (前年同期対比増減率105%以上または95%以下)	○	一般的に上半期は会議室の利用件数自体が少ない傾向にある。体育館・多目的室ともに利用件数自体はそれほど減少していないものの、前年同期に比べて利用人数が減少した。利用人数が減少した主な要因は、使用種目によるところが大きく、例えば、スポーツダンスなどの大人数で使用する団体が減少したため、利用者数も大きく減少したものと考えられる。利用者数減少に対する今後の対応策としては、ホームページなどを活用して、積極的な広報を行っていきたい。

<参考>

施設の最大利用可能人数 ※利用種目、時間、流動人数など条件により異なり算出不可

							合計
定員(1日あたりの延べ人数)							0
年間利用可能日数							
最大人数	0	0	0	0	0	0	0
半期	0	0	0	0	0	0	0

※複数の施設がある場合は個別に記入する。

4 利用者の満足度（アンケート結果）

評価 **B**

（評価の目安）

「満足」（4段階評価及び5段階評価の場合、上位2段階）と答えた割合が

- A：80%以上
- B：60%以上～80%未満
- C：40%以上～60%未満
- D：40%未満 又は（A～Cにかかわらず）「不満足」と答えた割合が50%以上
- －：今期は実施していない

	とても良い	良い	普通	悪い	とても悪い	合計	上位2段階の割合
総合満足度の回答結果	30	129	88	5	0	252	159 (64.0%)

※今年度の実施予定

上半期 1 回

下半期 1 回

その他

※配布・回収件数

配布 278 件

回収 263 件

回収率 94.6% %

※実施方法

利用者等に配布

受付等に配架

リストから選択

リストから選択

5 苦情・要望等

評価 **A**

（評価の目安）

- A：要望等を積極的に把握して改善を行う等、サービス向上を図った。
- B：指定管理者に起因しない苦情・要望等があったが、適切に対応した（苦情・要望等がない場合も含む）。
- C：指定管理者に起因する苦情・要望等があったが、適切に対応した。または、指定管理者に起因しない苦情・要望等があり、適切に対応していない。
- D：指定管理者に起因する苦情・要望等があり、適切に対応していない。

報告件数

上半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	簡易アンケート等	
上段：報告件数	0	0	0	0	0	0
下段：報告件数のうち所管課受付分	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)

苦情・要望等への対応

該当なし

分野	概要	対応状況
施設・設備	空調に関する要望を多数受けている	状況に応じて窓の開閉を行ったり、室温管理、水分補給の呼びかけを頻繁に行うことにより対応した
職員対応		
事業内容		
その他		

※ 指定管理者に起因するものは必ず記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

6 事故・不祥事等

評価 **A**

(評価の目安)

- A : 事故・不祥事等を防止するために積極的に取り組み、事故等が発生しなかった。
- B : 軽微な事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した (事故等が発生していない場合も含む)。
- C : 事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した。または、軽微な事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。
- D : 事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。

D

発生状況及び対応状況

該当なし

発生日	事故等の概要	原因・問題点	指定管理者の対応状況・改善策等

随時モニタリングの実施状況

該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果等
()		
()		
()		